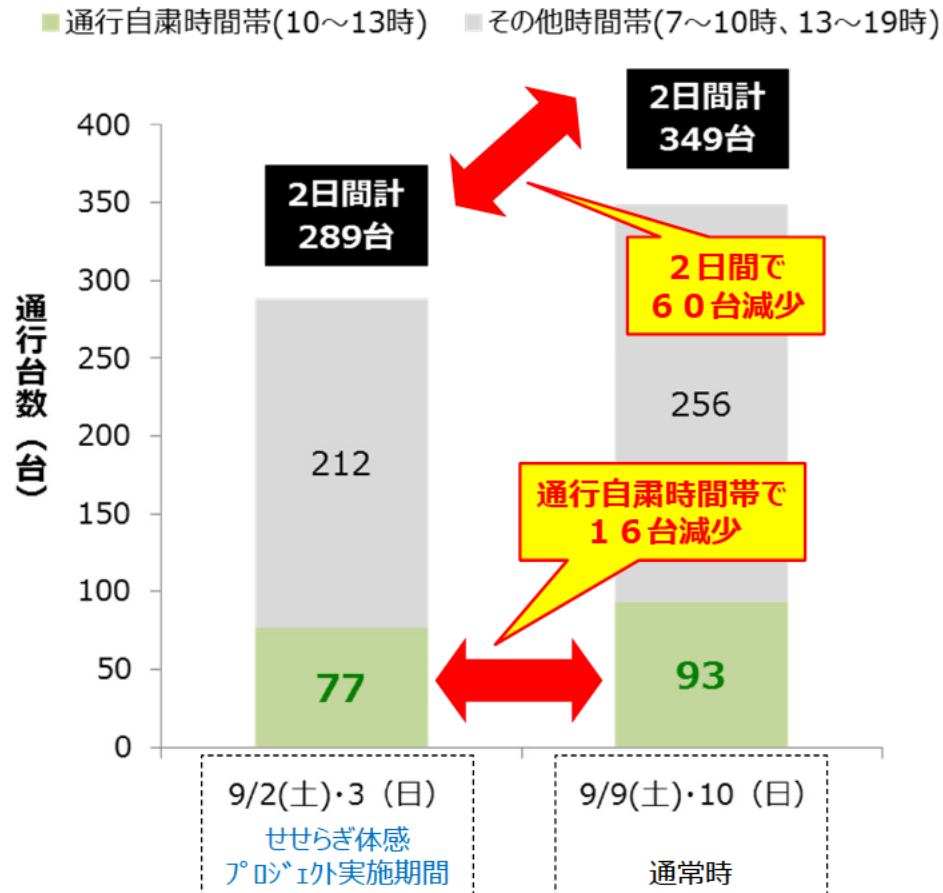


交通実態調査結果 ①業務車両の奥入瀬溪流区間通行状況

- 天候に左右されにくい業務交通である貨物車の溪流区間通過状況は、せせらぎ体感プロジェクト実施期間、通常時の各2日間で比較すると**全体で60台が減少し、通行自粛時間帯でも16台減少**
- せせらぎ体感プロジェクトへご協力・賛同頂いた企業を初めとする地域の企業のみなさんの広域迂回通行への協力による効果と想定される

▼貨物車の時間帯別溪流区間通行状況の比較



せせらぎ体感プロジェクトへ ご協力・ご賛同頂いた企業 (敬称略・順不同)

有限会社北日本通商、東北商運株式会社、株式会社共同物流サービス、三八五トランスポート株式会社、ロジライ東北株式会社青森営業所、大虎運輸東北株式会社青森支店、株式会社東洋陸送社、青森小型貨物自動車運送株式会社、新成運輸株式会社、株式会社ベジポスト、丸井運輸機工株式会社、上野輸送株式会社八戸事業所、武蔵貨物自動車株式会社八戸支店、共栄車輜有限会社、有限会社新月運送、北海道毎日輸送株式会社青森営業所、下田町運送有限会社、有限会社日栄運輸興業十和田営業所、大矢建設工業株式会社、株式会社徳差組、株式会社功和産業、寺下運輸倉庫株式会社、有限会社弘永興業、北部運送株式会社、石田産業株式会社

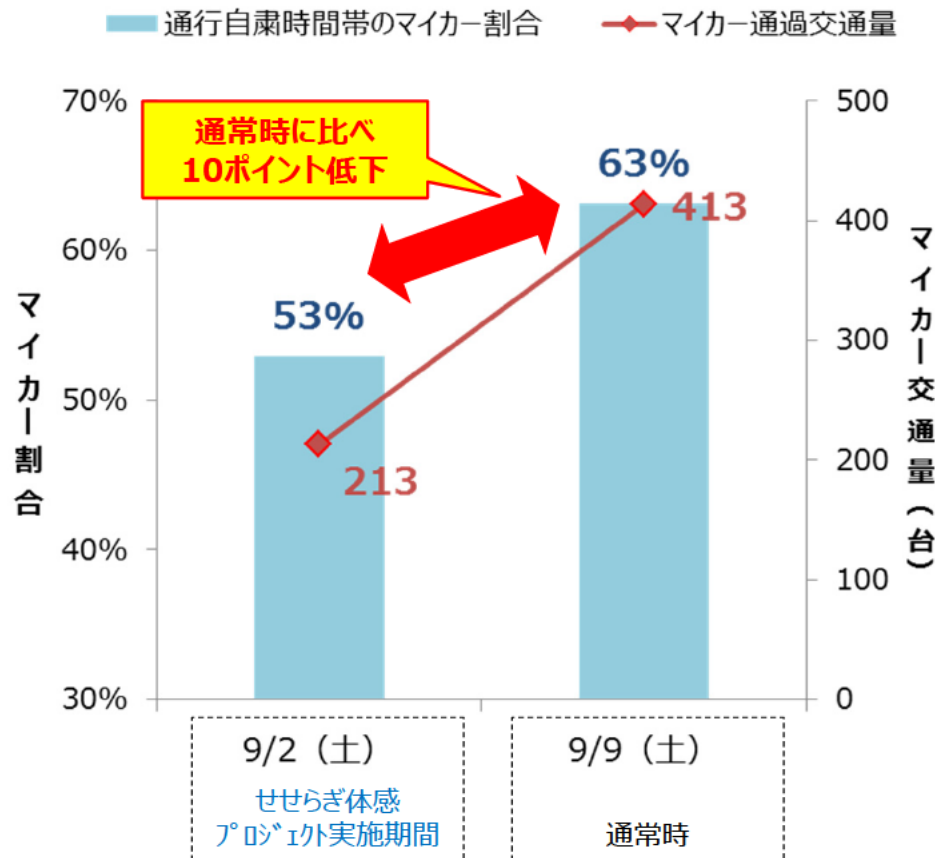
全25社

交通実態調査結果

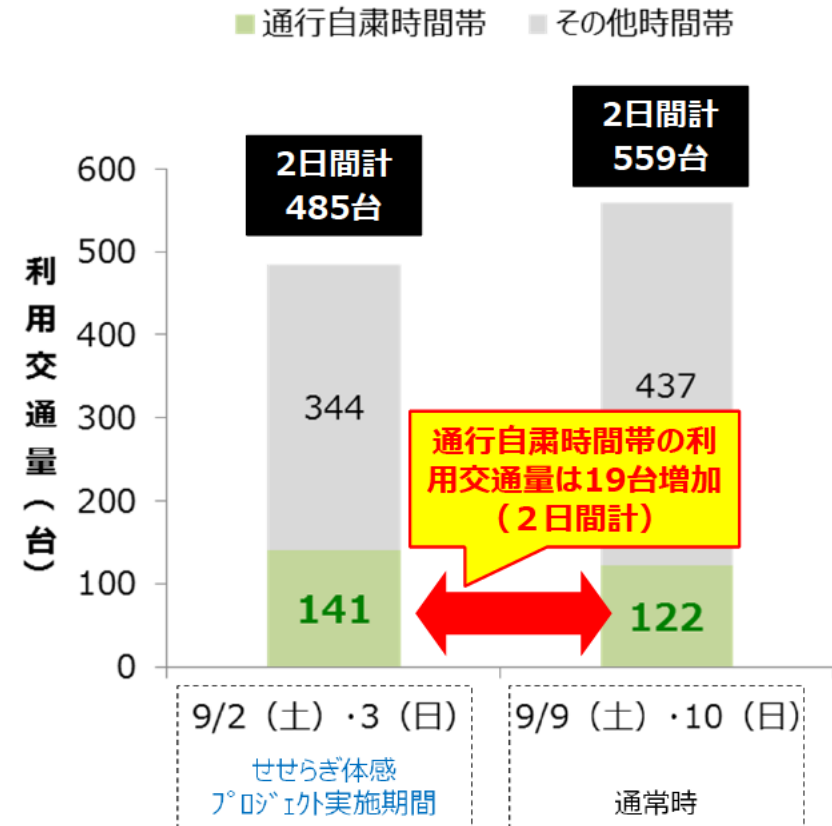
②マイカーの迂回状況

- 溪流区間における通行自粛時間帯のマイカー利用割合が通常時に比べ10ポイント低下
- また、溪流区間の迂回路となる青ブナ山バイパス区間利用交通量は、通常時に比べ1割以上少なかったにも関わらず、せせらぎ体感プロジェクト実施期間中の通行自粛時間帯は、通常時に比べ19台多く、迂回路利用による協力が視える

▼通行自粛時間帯（10～13時）におけるマイカーの占める割合の比較



▼通行自粛時間帯（10～13時）における青ブナ山バイパス区間利用交通量



※9/3 (日)、9/10 (日) の比較は9/10午前中が天候不良のため比較対象外とした